

サイバー防犯ボランティアの育成・支援

警察庁では、サイバー空間において自主的な犯罪被害を防止するための教育活動、規範意識向上のための広報啓発活動、サイバーパトロールによる環境浄化等の活動に取り組むサイバー防犯ボランティアに対して、「サイバー防犯ボランティア活動のためのマニュアル(モデル)」や「サイバー防犯ボランティア育成のための研修カリキュラム(モデル)」といった資料を作成・配布するなどして、サイバー防犯ボランティアの育成・支援に努めています。

同マニュアル(モデル)は、初めて活動に参加する初心者の方、既に活動をしているが今後どうしたらよいか迷っている方等が、安全第一に仲間と楽しみながら、無理をせず活動するための手引書です。

○サイバー防犯ボランティアの活動マニュアル(モデル)の概要

サイバー防犯ボランティアの活動マニュアル(モデル)の概要



1 活動の目的

- (1) 各種活動を通じて、サイバー空間の規範意識を改善
- (2) 安全で安心して利用できるインターネットの確立
- (3) 具体的な活動内容を明示した活動の目的を定めることを推奨

2 活動を始める前に

ボランティア活動は、自主的な活動計画にもとづいて、それぞれが主体となって行うもの

- (1) **サイバー防犯ボランティア活動とは**
サイバー空間における防犯ボランティア活動のこと
- (2) **仲間を増やす**
目的に賛同する仲間を増やし、仲間と話し合い等しながら、楽しんで活動していくことが大切
- (3) **活動を長続きさせるために**
ア 活動を活性化することが重要
イ 無理をしないことが重要



3 活動の基本的心得

- (1) **安全第一に**
安全に活動できるための知識を身につけて、安全を確保できる範囲内で活動することを推奨
- (2) **インターネットの実態を知る**
活動中、トラブル等に遭わないために、インターネット上で発生している犯罪・トラブル等の実態をよく理解し、予想される課題や問題点を知っておくことを推奨
ア 違法情報等の通報受理と対応状況
イ 警察への相談及び検挙状況
ウ 青少年を取り巻くインターネット環境
エ 高齢者を取り巻くインターネット環境



(3) 秘密の保持

サイバーパトロール等で知り得た情報の取扱いを慎重にし、秘密の保持に十分に留意

(4) 最新情報の共有

警察等からの最新情報は、積極的に活用し、ボランティア間で共有

(5) 関係機関、団体との連携

警察等関係機関や他のボランティア団体と良好な関係を保ち連携して活動

(6) 活動記録の保存

活動をより効果的にするために、活動の結果を記録することを推奨

(7) 実社会での活動

実社会での活動に当たっては、その必要性、効果を慎重に判断
事業によっては専門機関へ相談



4 具体的な活動方法

(1) 教育活動

- ア 講習素材の収集
- イ 講習の内容及び方法

(2) 広報啓発活動

- ア 広報啓発のための資料の作成
- イ 防犯キャンペーン・イベント等の開催

(3) サイバー空間の浄化活動

- ア サイバーパトロールの進め方
- イ 発見時の措置
- ウ 基本的留意事項



5 参考資料

- 関係省庁・警察等関係サイト

○サイバー防犯ボランティア活動のためのマニュアル等

URL <https://www.npa.go.jp/cyber/policy/index.html>

警察庁サイバー犯罪
対策プロジェクト

